

平成 23 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 野村マイクロ・サイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 千 田 豊 作
 (コード番号：6254)
 問合せ先 執行役員経理部長 日 向 潤
 (TEL 046-228-5195)

営業外費用の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期第 2 四半期における営業外費用の発生についてお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上及びその内容

外国為替相場の変動により、平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）において、営業外費用に為替差損を連結 2 億 1 千 1 百万円、個別 2 億 2 千 3 百万円計上いたします。

なお、これは平成 24 年 3 月期第 2 四半期末時点での為替相場による差損であり、平成 24 年 3 月期末の為替相場により、為替差損の額は変動いたします。

2. 業績予想の修正

平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,226	312	281	204	20.75
今回発表予想（B）	7,446	△81	△314	△224	△23.18
増減額（B－A）	△2,780	△393	△595	△428	－
増減率（％）	△27.2	－	－	－	－
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 23 年 3 月期第 2 四半期）	10,911	637	402	369	37.46

平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,380	74	62	36	3.75
今回発表予想（B）	5,532	△222	△444	△274	△28.39
増減額（B－A）	△1,847	△296	△506	△311	－
増減率（％）	△25.0	－	－	－	－
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 23 年 3 月期第 2 四半期）	7,749	188	△64	48	4.91

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の業績

(1) 連結業績について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の景気は、回復の兆しが見えてきておりましたが、欧州の債務問題や急激な円高等により景気の下振れ懸念も出てきております。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体・液晶関連業界の動向としては、SEMI（国際半導体製造装置材料協会）が発表した2011年第2四半期の半導体製造装置販売額は、欧米を中心とした景気減速の影響を受け設備投資抑制等の影響により8四半期ぶりに減少に転じ、また、液晶関連企業の設備投資も投資一巡感が強まってきました。

このような環境の中、当社グループは純水製造装置につきましては、国内において製薬関連企業を中心に受注獲得に注力してまいりましたが、設備投資計画が延期や縮小となったことに加え、韓国・台湾及び中国においては、欧州の金融危機を背景にした世界的な景気低迷の影響等により半導体・液晶関連企業の相次ぐ設備投資計画の延期により、売上が計画を大幅に下回りました。また、メンテナンス及び消耗品につきましては、東日本大震災の影響を受けたことによる一部のメンテナンス原材料不足やメンテナンスの遅れ・延期等の要因により計画を下回り、第2四半期累計期間売上高は予想より、27.2%減の74億4千6百万円になる見込みであります。

利益面につきましては、減収を主因として81百万円の営業損失となる見込みであります。また、為替相場の急激な円高により外貨建売掛金及び外貨建預金等の為替差損2億1千1百万円を営業外費用として計上したことにより、経常損失は3億1千4百万円、四半期純損失は2億2千4百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績について

個別業績予想につきましては連結業績予想と同様の理由により修正いたします。売上高につきましては、予想より25.0%減の55億3千2百万円となる見込みであります。

営業損失については、2億2千2百万円となり、営業外費用として為替差損2億2千3百万円を計上したことにより経常損失4億4千4百万円、四半期純損失は2億7千4百万円となる見込みであります。

通期業績予想

(1) 連結・単体の業績について

通期の連結・個別売上高及び営業収益につきましては、主に欧州の金融不安を背景にした韓国・台湾及び中国の半導体・液晶関連企業が設備投資を延期したものによる影響が大きく、また、経常利益及び当期純利益につきましては急激な円高に伴う為替相場の変動要因による比重が高いため、今後の半導体・液晶関連企業の設備投資動向ならびに工場稼働率の低下等の要因として遅延しておりましたメンテナンスの状況等を勘案した結果、装置、メンテナンス及び消耗品も含め当初予定数値まで改善すると見込み、前回発表どおりとしております。

なお、業績見通しを精査する段階で修正の必要が生じた場合は速やかに発表いたします。

※ 上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上